

## 室蘭市人口ビジョンの変更について

### 1. 将来人口推計の修正

- ・ 現行ビジョンの将来人口推計（青実線）は、「国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）」が2013年に公表した推計値（青点線）をベースに、施策効果による社会移動数の増加、出生率の上昇を考慮して推計したもの。
- ・ 2018年に社人研が最新の推計値（赤点線）を公表したことから、これをベースに改めて将来人口推計を行った。

### 2. 修正後の将来人口推計

#### ①出生率の修正

- ・ 現行ビジョンの出生率は、国の長期ビジョンを勘案し設定していたが、2018年の本市の出生率は1.41であり、仮定条件との乖離が見られる。
- ・ 合わせて、出生率の上昇には長期的な視点が必要。
- ・ 第2期総合戦略では、「結婚や子育て等の希望を叶える環境づくり」の取り組みを進めることから、国民希望出生率1.80を中期的な目標とし、長期的には人口置換水準である2.07を目指すこととする。

（現行ビジョン）  
出生率は段階的に上昇し、  
2040年に2.07、以降も2.07で推移



（修正後）  
出生率は段階的に上昇し、  
2040年に1.80、2060年に2.07

#### ②社会移動数の修正

- ・ 社会移動数は現行ビジョンでは、+50人/年の抑制効果を想定。第1期総合戦略の施策効果を踏まえるとともに、第2期の施策効果を想定し、+100人/年を想定する。

### 修正後の将来人口推計（2040年の将来人口を 約7万人⇒約5.9万人 に設定）

